

国語29ページの答え

国語28ページの答え

勉強した日 月 日

国語26 隨筆の書き方を知ろう

めーん」と打ちこんだ瞬間、頭の中が真っ白になる。竹刀をぎる指先から頭のてっぺんまで電気が走ったようしひれて、ふわっとした熱い空気が体中を回る。それから急にすずしい風が矢のように体を通りぬけていく。わたしは、その瞬間が好きだ。

弟は体が弱くて、すぐに高熱を出しては病院通いをしていた。幼稚園に入つてからは、よく泣かされて帰つた。わたしが、「どうしたの。」と聞くと、また泣き出してしまつた。

父と母とわたしは、弟の泣き虫を治す方法を考えるために家族会議が開かれた。やはり運動をして体をきたえるのがよいだろうということになつた。いろいろ話し合つて、精神力もつくし、礼儀正しくなれるからという理由で、剣道をやらせることに決まつた。

わたしは、最初、あまり剣道を習いたくなかった。なぜかといふと、男の子みたいに思われるのがいやだったからだ。けれども、弱虫の弟のことを考える

と、かわいそうになつた。がまんして、弟といっしょに習うこと心を決めた。

でも、一年ぐらいたつて、防具が付けられるようになつてからは、剣道に興味が湧いた。たとせや、ピアノのレッスンがうまくきなかつたときや、友達とけんかをしたときは、急いで道場に行く。重い防具を付けて、何十本も何百本も打ちこみをする。あせびっしりよくなつて、練習終わり、面を外して、ふうっと大きな息をつく。すると、なぜだかわからぬ気がいやなことを全部わざれてしまつて、逆に楽しい気分になつてくる。

こんなとき、わたしは剣道をやつてよかったと思う。わたしには好きな言葉がある。剣道の先生から教わつた文「武両道」という言葉だ。

「いいか、いつか、武両道の気持ちをわざれるな。どちらかをやめようとする、どちらかがだめにならざるも同様」といふようげんめいやれ。必ずどちらもやるものだ。」と、先生は言った。

このときから、文「武両道」という言葉を聞くと、もくもく力がいてくる気がする。

わたしは、これからも、この言葉をねりにいく、ずっと剣道を続けていきたいと思う。

★ 小田さんの隨筆の下書きを読んで考えてみしよう。

1 小田さんは、文章を読み返して、次の文を付け加えよ。じつけあ。

わたしは、文書をもとに自分の思いを書いた隨筆の書き方がわかる。

2 小田さんが、次の感覚を、たとえを使って表現してみよう。

3 小田さんの文は、主語を省いています。どんな主語を省いているですか。

4 小田さんの文は、主語と述語が対応していません。対応するように、次の言葉を書き直しましょう。

5 小田さんの文は、主語を敬語を使って書き直しましょう。

6 小田さんは、上の隨筆の題名として、三つの候補をあげました。次のように考えて決めなれば、どの題名ですか。

7 上の隨筆を読んだ感想としてふさわしいのは、次のどれですか。二つに〇をつけましょう。

8 「エネルギー」という言葉から、「元気」が生まれる。わたしと剣道イメージされますね。

9 「わすれられない言葉

(29 (6年) 28)

国語31ページの答え

国語30ページの答え

勉強した日 月 日

国語27 まとめのテスト

1 「」の文と同じ意味を表す文になるよう、空欄は〇をつけよう。

①【国民体育大会が始まる】
②【夕日の美しさにおどろく】
③【息を引き返す】
④【興味】

2 「」の文と同じ意味を表す文になるよう、空欄は〇をつけよう。

①わたしには夢がある。それは、子どもたちを楽しませるまんが家になることだ。

3 「」の二つの言葉を組み合わせて複合語を作り、に書きましょう。

4 一の言葉を敬語に直して、次の文を書き直します。

5 一の言葉は、何を指していますか。指していることを書きましょう。

6 一の言葉を選んで書きましょう。

7 動物園の象

(31 (6年) 30)